

第6分科会 健康・安全教育

【研究課題】 たくましく生きる心と体をはぐくむ健康・安全教育

【研究の視点②】 自ら安全な行動がとれる能力の育成を目指す安全教育の推進

〈研究発表〉 児童の危機対応能力の育成を目指して

愛媛県宇和島市立立間小学校 山下 和代

〈発表概要〉

本来、安全で安心な場所であるべき学校が、現在不審者侵入をはじめとして、安全が危ぶまれる状態にある。そして、今後30年の内に50%の確率で必ず発生すると言われていた南海地震も恐怖である。そこで、特に防犯・防災活動の面から、児童の安全をいかに確保するかを考えていきたい。また、児童には「自分の命は自分で守る」という意識を定着させ、どんな危機に対しても、自分で判断し、回避できる力を育成したいと思う。

以下の方法で研究を推進する。

- ①保護者・地域・関係機関との連携による安全対策
- ②児童への安全教育（安全マップの作成・防災教室・防犯避難訓練）
- ③教職員の危機管理意識を高める校内研修